

2022年1月16日(日)晴

北摂「太閤道」

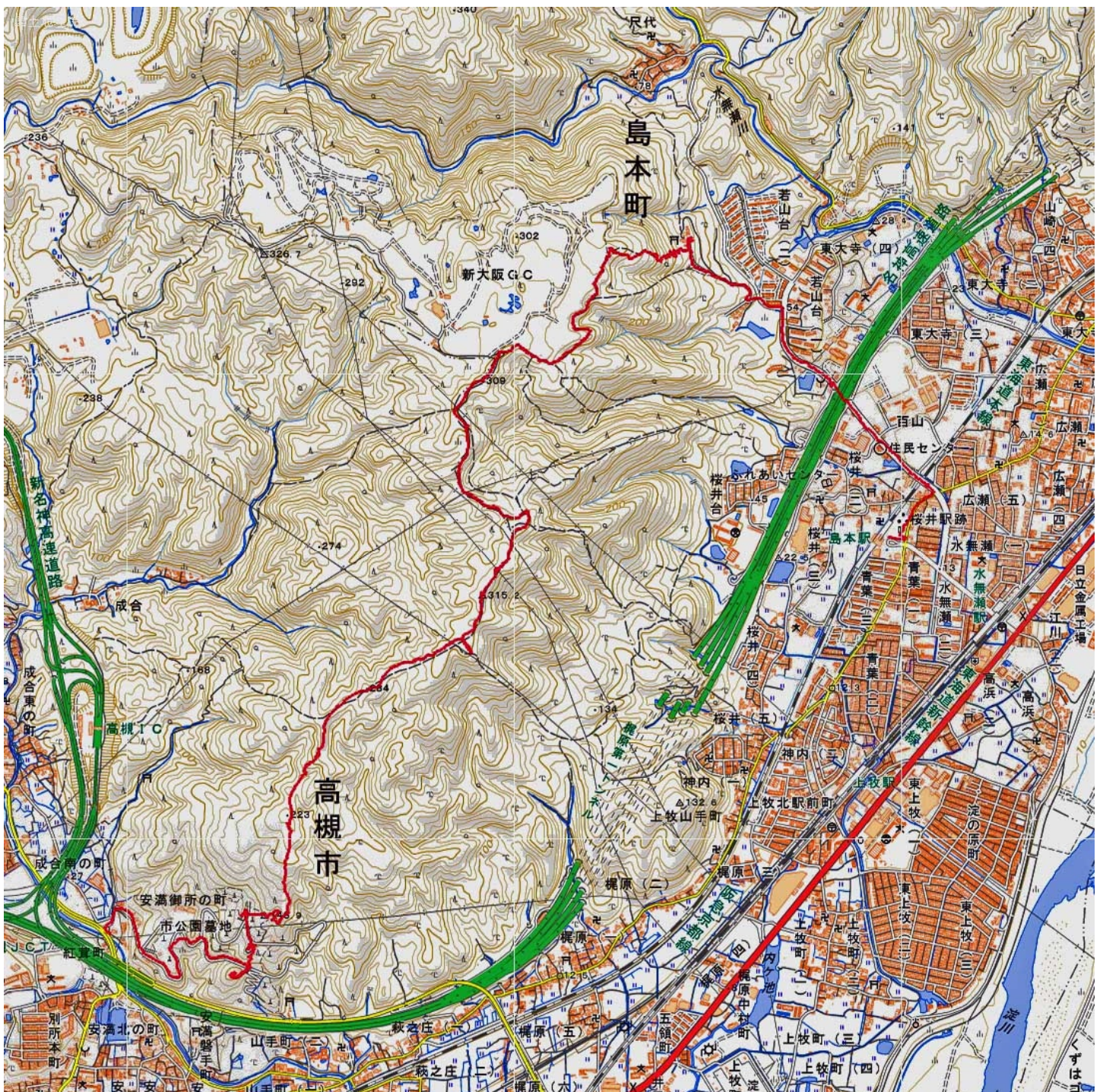
山の会例会主宰

参加者 L: 廣田富三、加来繁幸、玉井八ル子、樋口絹子、真田 仁、新井義雄、  
服部 忠、武智謙一、長谷川英子、中川 敦、計10名  
飛込み(山室昭宏)

コース距離: 9 km、 所要時間: 4時間31分(休憩含む)

コース: 島本駅前(9:13) (9:51)若山神社(9:58) (10:14)稜線  
(10:48)島本展望所(11:00) (11:18)休憩場所(11:51) (11:54)若山三角点  
(12:04)北摂一番 (12:51)悠久の丘 (13:05)安満宮山古墳 (13:17)弥生の丘  
(13:44)磐手橋

### \* 山行軌跡





## 山行記：

JR島本駅前に9時集合としていたが遅れている方が居られる、9時過ぎに来られたので集まったかと思い出発するが10名の予定が一人足りない、S氏がまだ来ていないので駅に戻る。

K氏が改札口まで行き迎える、9時30分と思い込み本人は余裕をもって9時10分到着する。K氏に言い聞かされ謝罪する。

9時13分出発し一路若山神社を目指して歩き始め長い石段を登り到着する、今日は日曜日なのでハイキングする方も多く居られた。

神社の境内から太閤道のハイキングコースが始まる、終着は金龍寺跡を經由して磐手橋への所要2時間のコース。

例会はコースの金龍寺跡分岐を真直ぐ進み悠久の丘へ行く、神社から稜線（ゴルフ場前）に出るまでが登りで、そのあとはアップダウンの尾根道を歩いていく。

神社から稜線まで20分掛けて登る積りが16分で来てしまった、ペースダウンして先に進み島本展望所で一息つく。

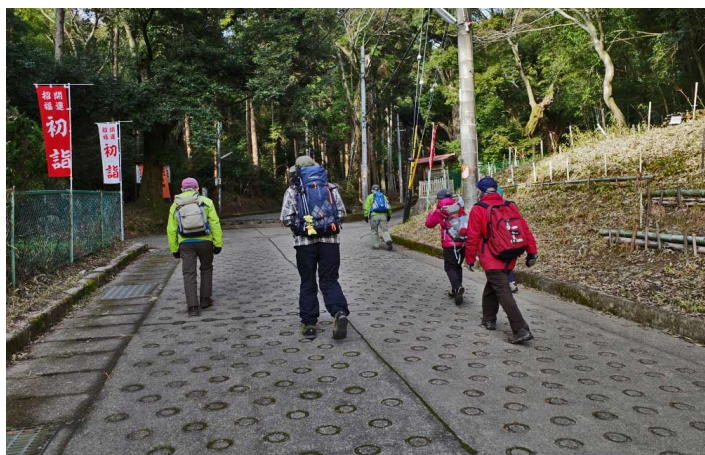
展望所からは、「木津川、宇治川、桂川」の三川が合流し淀川になるのが眼下に見渡せる他、男山から霞で出ていて見難いが交野山・生駒山まで見える。

沢山のハイカーグループで賑わって食事にはまだ早いので先に進み三角点手前に開けた所が有りベンチが設置されているのでここで食事休憩を撮る。

食事を終えて出発しようとしたとき、高槻側からY氏が散歩に来られ出会い一緒に下山する事になった、若山三角点では目新しい小さいが高級感のある標識が吊るされていた、北摂一番の展望場所に立寄るが大阪市街は霞でよく見渡せなかった。

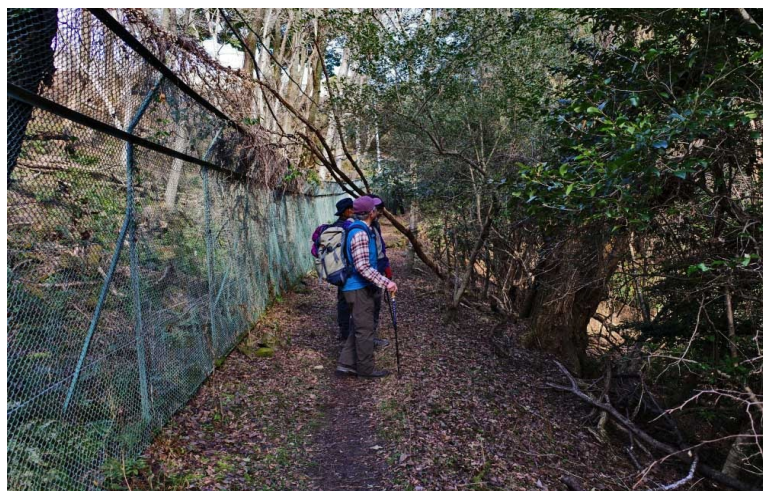
悠久の丘へ下る途中の休憩所で高槻市外が北に広がっているのが確認できる、その前には花壇やモチーフ等が飾ってあった。

この下側に確認できなかった三角点があり探しに入り公園墓地の中にあるのを見つける、安満宮山古墳や弥生の丘の日時計を見てから磐手橋に到着しバスで駅前に。



若山神社入口

山道での植物説明







四つ辻の標識

島本展望所から  
三川合流点



島本展望所にて





若山三角点

三角点にて



公園墓地内で  
見つけた安満三角点

共同墓地の墓標







弥生の丘にある日時計